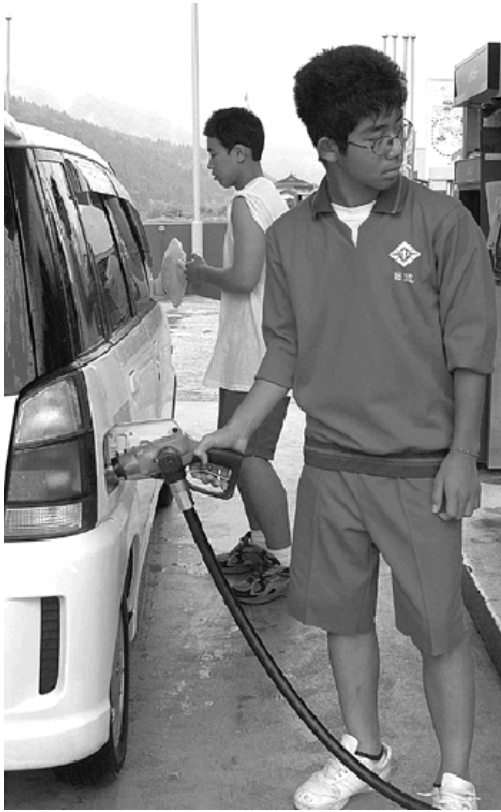


働く

この意味を知る

中学生が職場体験を通して生きる力を学ぶ「ワクワク日野」職場体験活動が、6月25日から27日の3日間、町内13事業所で開かれました。中学生は学校を離れ、実際に働いて地域の一人としての自覚を深めました。



日野中学校の生徒が 事業所で職場体験

中学生が地域の職場で働くことを学ぶ「ワクワク日野」職場体験活動が、6月25日から27日まで開かれました。

日野中学校の2年生29人は、町内の事業所に3日間、数名ずつに分かれて職場体験をしました。

今年、販売・サービスマン・福祉施設などさまざまな職種13か所の事業所などが中学生を受け入れました。

地域社会の中で

働き自覚を持つ

この職場体験活動は、生徒が学校を離れ、地域社会の中で実際に働くことにより、その体験の中から「生きる力」や感謝の気持ちを感じとってもらおうという活動です。

地域を愛する心を持ち、その一員としての責任と自覚を深めてほしいと、9年前から2年生を対象に行っています。

学校・家庭・地域が

協力し合い育てる

職場体験は、3日間という短い期間ではありましたが、

【水谷石油】

水谷修一さん(指導ボランティア) 中学生には、何事にも興味や目的意識を持って挑戦してほしいです。地域の受け皿として今後も生徒を受け入れていきたいです。



左から 水谷修一さん 西村亮佑さん 宇田直斗さん

西村亮佑さん(中学生) 仕事は大変だと思ったけど、期間中はとても充実していました。窓拭きやタイヤ交換が楽しかったです。

宇田直斗さん(中学生) お客様から声をかけてもらえてうれしかったです。この貴重な体験を将来に生かしていきたいです。



【かじか荘】

中川久美子さん(指導ボランティア) 仕事を通して、働くことの厳しさや楽しさ、生きがいを感じてほしいです。中学生には、いつまでも人に対するやさしい気持ちを持ち続けてほしいです。

小林綾子さん(中学生)

人と接すること
は、大変
だと感
じました。将来は福祉関係の仕事に進
みたいと思っています。



左から 杉本香織さん 中川久美子さん 小林綾子さん



杉本香織さん(中学生) 働くことの大切さなど学校では学べないことがたくさん感じられて良かったです。